



ビキニカウルを外し、EVO時代を彷彿とさせるヘッドライトバイザーを装着。ハンドルはストレートバーで、ロゴ入りのエンドキャップはレッド、オレンジ、ブルー、グリーン、ゴールド、シルバーを設定する。カーボン製のファンカバーで、ラジエーター冷却ファンからの熱風を外にそらし、左足を守っているのも見逃せない。マフラーは車検対応のジキル&ハイドマフラーだ。

TRIJYA
TEL.072-970-3110
https://trijya.com/

撮影:宮下豊史 文:青木タカオ

NIGHTSTER

RH975S

精巧なボルトオンパーツでトラックスタイルへ!

ナイトスターがアグレッシブなトラックスタイルに生まれ変わった! ここまでガラッと雰囲気を変えようとすれば、さぞかし大掛かりな作業が必要かと思いきや、トライジャがプロデュースするカスタムパーツのほとんどは精巧なボルトオンキット。基本的にはすべて車検対応で、全国のHDJ正規ディーラーでも取り付けをオーダーできる。注目は先ず外装。純正ノーマル時から燃料タンクはシート下に配置されるため、従来のタンク位置にはエアボックスカバーがある。これを3Dプリンターにて製作し、立体的なフレームスという複雑な形状を表現してみせるから驚く! シート&テールカウルはフレームの一部をカットすれば簡単に装着でき、軽快なフルカスタムがすぐに手に入る。太陽マークをデザインしたステンレス製コアガードは単なる保護具ではなく、ドレスアップ効果も絶大。小ぶりのデザインでフィット感のあるミニエアボックスカバーは、アルミ削り出しブラックアルマイトで、側面には空気吸入効率を高めるためのスリットが施された。すべてが見た目と機能を高次元で両立するのだ!!

ナイトスターがアグレッシブなトラックスタイルに生まれ変わった! ここまでガラッと雰囲気を変えようとすれば、さぞかし大掛かりな作業が必要かと思いきや、トライジャがプロデュースするカスタムパーツのほとんどは精巧なボルトオンキット。基本的にはすべて車検対応で、全国のHDJ正規ディーラーでも取り付けをオーダーできる。注目は先ず外装。純正ノーマル時から燃料タンクはシート下に配置されるため、従来のタンク位置にはエアボックスカバーがある。これを3Dプリンターにて製作し、立体的なフレームスという複雑な形状を表現してみせるから驚く! シート&テールカウルはフレームの一部をカットすれば簡単に装着でき、軽快なフルカスタムがすぐに手に入る。太陽マークをデザインしたステンレス製コアガードは単なる保護具ではなく、ドレスアップ効果も絶大。小ぶりのデザインでフィット感のあるミニエアボックスカバーは、アルミ削り出しブラックアルマイトで、側面には空気吸入効率を高めるためのスリットが施された。すべてが見た目と機能を高次元で両立するのだ!!



TRIJYA
TEL.072-970-3110
https://trijya.com/

撮影:宮下豊史 文:青木タカオ

PAN AMERICA 1250S

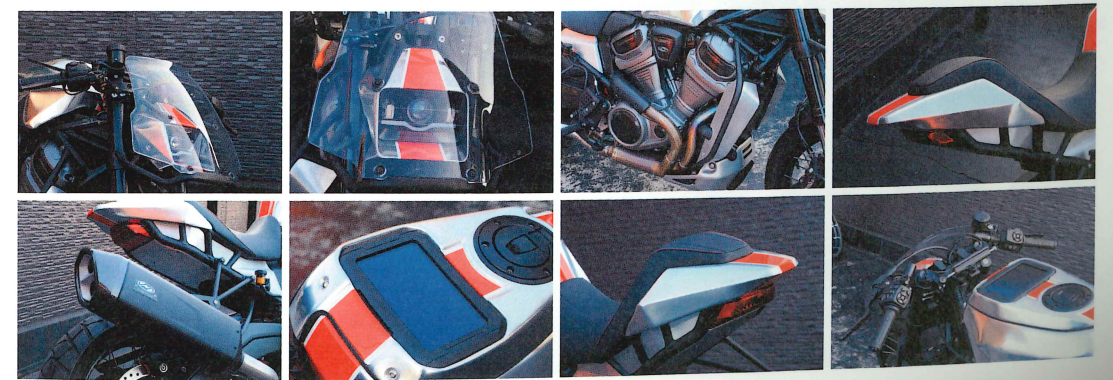
RA1250A

アドベンチャーをSFスタイルの暴れん坊マシンへ

近未来のカフェレーサーか、はたまたスーパーフリーガン譲りの凶暴なマシンか!? レボリューションマックスエンジン搭載モデルのカスタムに、無限大の可能性を感じ、ワクワクしてならないぞ! 前傾気味のライディングポジションを生み出すセパレートハンドルと、低い位置へ下げてマウントしたヘッドライトでアグレッシブなファイティングスタイルとしているベースモデルは、なんとパンアメリカ1250Sスペシャルだ。 エッジを効かせた角張った形状の外装類は、塗装をせずに金属質のままとし、緻密さと荒々しさを同居させている。タンク上面にはメーターディスプレイがビルトインされ、レーシングライクなレツドラインがウインドスクリーンでカバーされたヘッドライトからテールエンドに至るまで真っ直ぐ貫く。 冷却ファンやステンレス製コアガードを備え、水冷エンジンで重要となるラジエターまわりをしつかりガード。マフラーはユーロ5規制JMC A認定、車検対応のジキル&ハイドエキゾーストだ。前後ホイールをスポーク仕様のままにするなど、遊びゴコロとセンスを感じる!!



ダートも走破可能なアドベンチャーモデルのパンアメリカを、セパレートハンドルでロードスポーツへ方向転換。アメリカで人気を博すスーパーフリーガンレースにも通じるコンセプトに感銘を受けると同時に、レボリューションマックスモデルのカスタムへの興味が尽きない。スポーツスター-Sやナイトスターを含め早くからさまざまなパーツをリリースし、シーンを牽引するトライジャの姿勢に賛辞を送りたい。





X500
内股も痛くなる硬いシートを改善



X500 加工後の足つき

X500 加工前の足つき



X350

X350 / X500 用純正シート加工
価格は近隣のH-D正規ディーラー様まで

オーナーならまず改善したいと思うのがシート。全体的に薄く、そしてシートベースの硬さが感じられる。ツーリングを楽しむためユーザーにとっては苦痛を感じるほど。トライジャでは純正のシートを加工。独自に吟味した素材等を使用し形状を変化させ足付き性とクッション性を大幅に向上させる。350、500 共に対応可。

リア周りをすっきりとレーシーに



X350 用フェンダーレスキット
開発中

X350 をよりスタイリッシュに仕上げるには必要不可欠なフェンダーレスキット。ナンバーの傾斜角度は法規制を遵守しLEDナンバー灯も装着しているため安心安全だ。ウインカー、リフレクターは純正を流用。

TRIJYA
CUSTOM MOTORCYCLES
合法カスタムに力を入れる
H-D カスタムショップ

問い合わせ先: TRIJYA (トライジャ)
<https://trijya.com>

ヨコハマホットロッドカスタムショーや東京モーターサイクルショーなどでカスタム車を制作展示し音量変化が可能なJMCA認定マフラーであるジキル&ハイドを積極的に提案。Xシリーズの座り心地と足付き性の改善をいの一歩に追求。アクスルシャフト、ラジエーターコアガードの販売も開始している。

世界最小のLEDウインカー
Kellermann で安全にスタイリッシュ&レーシーに

問い合わせ先:P&A International (バイツマイヤー カンパニー)
<https://www.peitzmeier.jp>

世界最小のLEDウインカーを開発したドイツのカスタムパーツメーカーKellermann / ケラーマン。もちろん全商品車検対応だ。加えて、日本の高温多湿な気候に合わせて耐久性を上げた日本仕様を開発。JEの刻印がその証となる。この立役者は静岡県のパイツマイヤーカンパニー。他にも数多くのヨーロッパ系のパーツを輸入販売している。

世界最小
尾灯制動灯内蔵ウインカー
Bullet Atto DF

9(直径) x 13(奥行) x 14 mm



尾灯制動灯内蔵ウインカー
Bullet 1000 DF

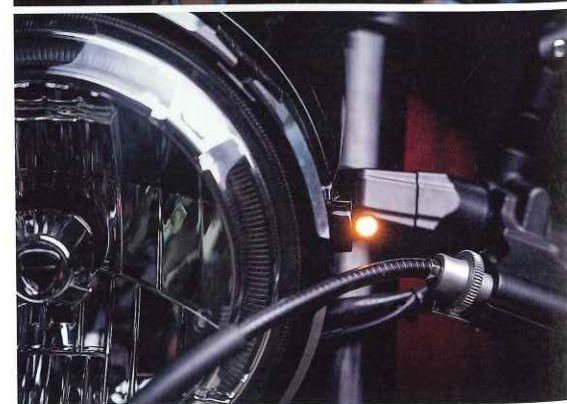
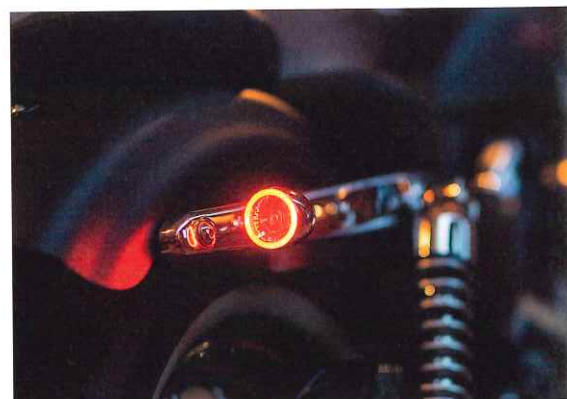
40(直径) x 50(奥行) x 55 mm

ケラーマン
Bullet Atto DF JE
尾灯・制動灯機能付き ウインカー
1万7050円(税込)
Bullet 1000 DF
尾灯・制動灯機能付き ウインカー
1万8700円(税込)

ケラーマンは世界最小のウインカーとしてカスタムビルダーに重宝されている。ウインカー機能だけのモデル、テールランプ機能も併せ持つモデル、サイズ、カラーも2色用意されているので好みに応じて使い分けよう。



P&A International
Peitzmeier Co.



足付きが悪いと信号待ちなどで不安を抱く。プロト社はそれを解消するためにローダウンスプリングを用意した。製品化に向けて鋭意開発中だ。

X350
CUSTOM PROJECT

ツーリングをより快適に楽しくさせるパーツ。
ローダウンスプリングもデビュー間近!

問い合わせ先:PLOT (プロト) <https://www.plotonline.com/>



冒頭に装着をしたミツバサンコーワのドラレコ。同梱のステーだけではうまく装着ができなかったフロントフォーク用のステーを活用した。他にETCのアンテナなどを好みの場所に装着するための汎用ステーを数多くラインナップ。足付き性をよくし立ちごけの不安を払拭させるためのローダウンスプリングも開発中。



装着されているドラレコはMio MiVue M820WD。リアカメラのナンバーマウントは左上用、右上用の2種が設定されているので好みに応じて選択しよう。他、ETCアンテナステーやスイッチステーなどもあるので利用したい。



カメラ装着場所の悩みを解決

プロト ドラレコカメラステー
ナンバー左 上 マウントタイプ
1430円(税込)

ナンバープレートに共締めして装着するステー。隣のフロントフォーク用も同じだが、ミツバサンコーワ、キジマ、Mio用のカメラに対応している。別売りのステーを利用すれば他社用のカメラも取り付け可能だ。



スタイルをくずさずスタイリッシュに

プロト ドラレコカメラステー
フォークランプタイプ φ49-φ54
1980円(税込)

フロントフォークに取り付けるためのカメラステー。X350の倒立フォークのアウトチューブ径は52mmなので問題なく装着できる。同梱のボルトを使用しカメラを固定する。尚、正立フォーク用のφ40～φ45タイプもあり。



問い合わせ先:DIRTFREAK (ダートフリーク) <https://www.dirtfreak.co.jp/>

モトクロスレースや林道、ダートなど土の上を走らせるためのカスタムには欠かせないパーツメーカーがダートフリーク。独自ブランド展開もさることながらアメリカやヨーロッパの本場のパーツも数多く輸入している。

オフロードユーザーの頼れる存在!
土感を出すにはかかせない



自分好みに
ポジショニング変更

ZETA SX3 バー
1万3860円(税込)



剛性をもちつつなりがあるテーパーハンドル。高強度アルミ合金を採用し表面にサンドブラスト加工がされ黒、赤、青色がある。汎用品なのでスイッチボックスの穴を開けるなど装着に加工が必要。バーパッド付き。

サイドに防水バッグを
装着するアタッチメント

DFG モトバックベース
サイドバッグ オンロード 1万3200円(税込)



別売りの防水性能を持つモジュールモトバック(容量7.5L/15Lの2タイプ)をサイドバッグとして使用するための専用アタッチメント。上部にも装着できる。X350への装着はリアウインカーに干渉するので工夫が必要だ。

手元の防風効果をUP
スタイルをがらりと変更



ZETA SONIC
ハンドガード KIT M6 TYPE
1万7600円(税込)

バーエンドに装着する汎用ハンドガード。ポリカーボネート製なので衝撃にも強い。グリップヒーターと一緒に装着すれば手元の防寒対策はバッチリだ。X350専用品ではないためグリップエンド部の見映えが気になる。



折りたたみができる
オフロードタイプのミラー

DRC
161 オフロードミラー (R/L)
2200円/個(税込)



中央部にピボット機能があり角度を細かく設定でき、林道走行などハードライディング時は折り畳みが可能だ。鏡面は大型で視認性が高いので安全性もバッチリ。右用、左用、ヤマハ車用の3種類が用意されている。